

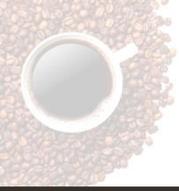


2020年12月期 3Q 決算説明資料

東証一部 2597

株式会社ユニカフェ

2020年1月1日～2020年9月30日



決算の概況

～連結～

売上高 109億31百万円、営業損失 3億40百万円

(百万円)

	2019年12月期 3Q (2019年1月1日～9月30日) (連結)		2020年12月期 3Q (2020年1月1日～9月30日) (連結)	
		対売上高比		対売上高比
売上高	13,941	100.0%	10,931	100.0%
営業損失 (△)	△0	△0.0%	△340	△3.1%
経常損失 (△)	△9	△0.1%	△304	△2.8%
親会社株式に帰属する 四半期純損失 (△)	△9	△0.1%	△2,140	△19.6%
E B I T D A	310	2.2%	43	0.4%
R O E	△0.1%		△30.9%	

連結PLの内訳

(百万円)

	2020年12月期 3Q (2020年1月1日～9月30日)								
	(当社)	対売上高 比	(アート コーヒー)	対売上高 比	(カップ ス)	対売上高 比	(連結調 整)	(連結)	対売上高 比
売上高	6,324	100.0%	4,378	100.0%	432	100.0%	△204	10,931	100.0%
営業損失 (△)	△78	△1.2%	△21	△0.5%	△181	△42.0%	△59	△340	△3.1%
経常損失 (△)	△56	△0.9%	△5	△0.1%	△181	△42.0%	△60	△304	△2.8%
親会社株式に 帰属する四半 期純損失(△)	△2,186	△34.6%	△513	△11.7%	△297	△68.8%	856	△2,140	△19.6%

決算概況：連結BS

自己資本比率は前連結会計年度末比5.3%p減少し42.7%

(百万円)

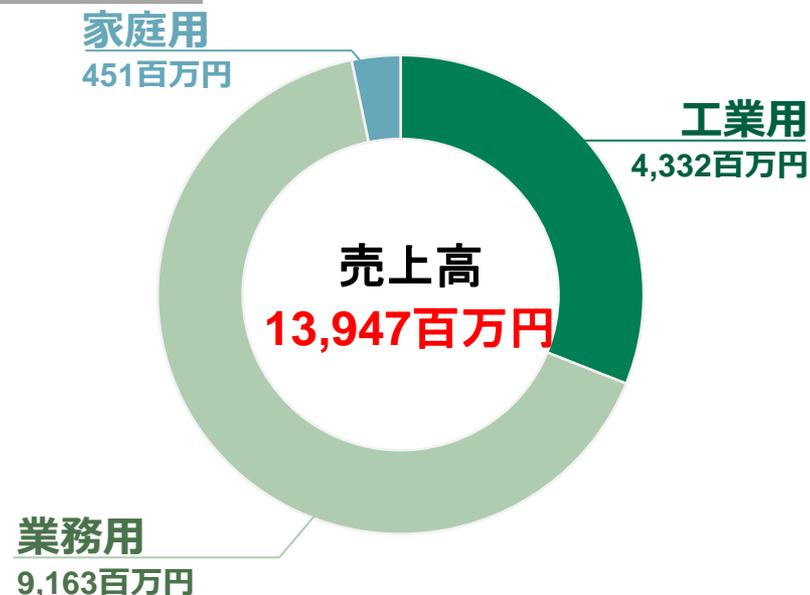
		2019年12月期 (連結)	2020年12月期 3Q (連結)	増減額
資産の部	流動資産	8,161	7,634	△526
	固定資産	8,531	6,050	△2,480
資産合計		16,692	13,684	△3,007
負債の部	流動負債	4,995	3,164	△1,831
	固定負債	3,677	4,676	998
	負債合計	8,673	7,840	△833
純資産の部	株主資本	8,016	5,853	△2,162
	評価・換算差額等合計	2	△9	△12
	純資産合計	8,019	5,844	△2,174
負債純資産合計		16,692	13,684	△3,007
自己資本比率		48.0%	42.7%	△5.3%p

分野別 サマリー(連結)

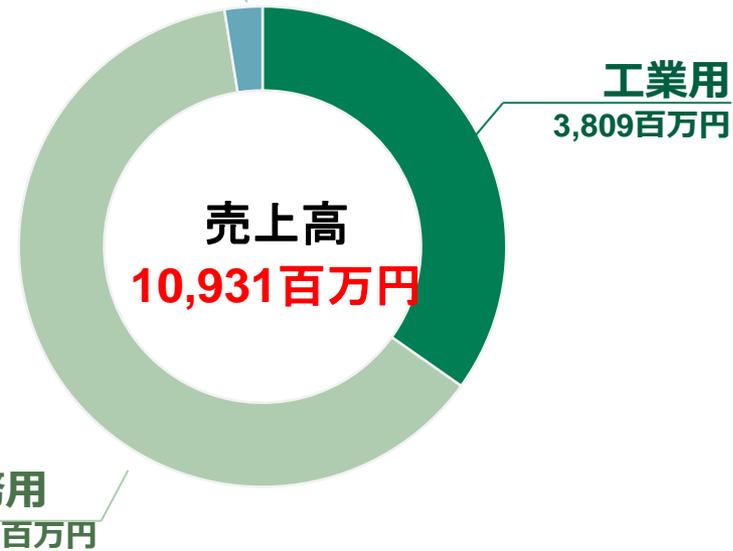
2019年12月期3Q 連結 (2019年1月1日~9月30日)

2020年12月期3Q 連結 (2020年1月1日~9月30日)

売上高



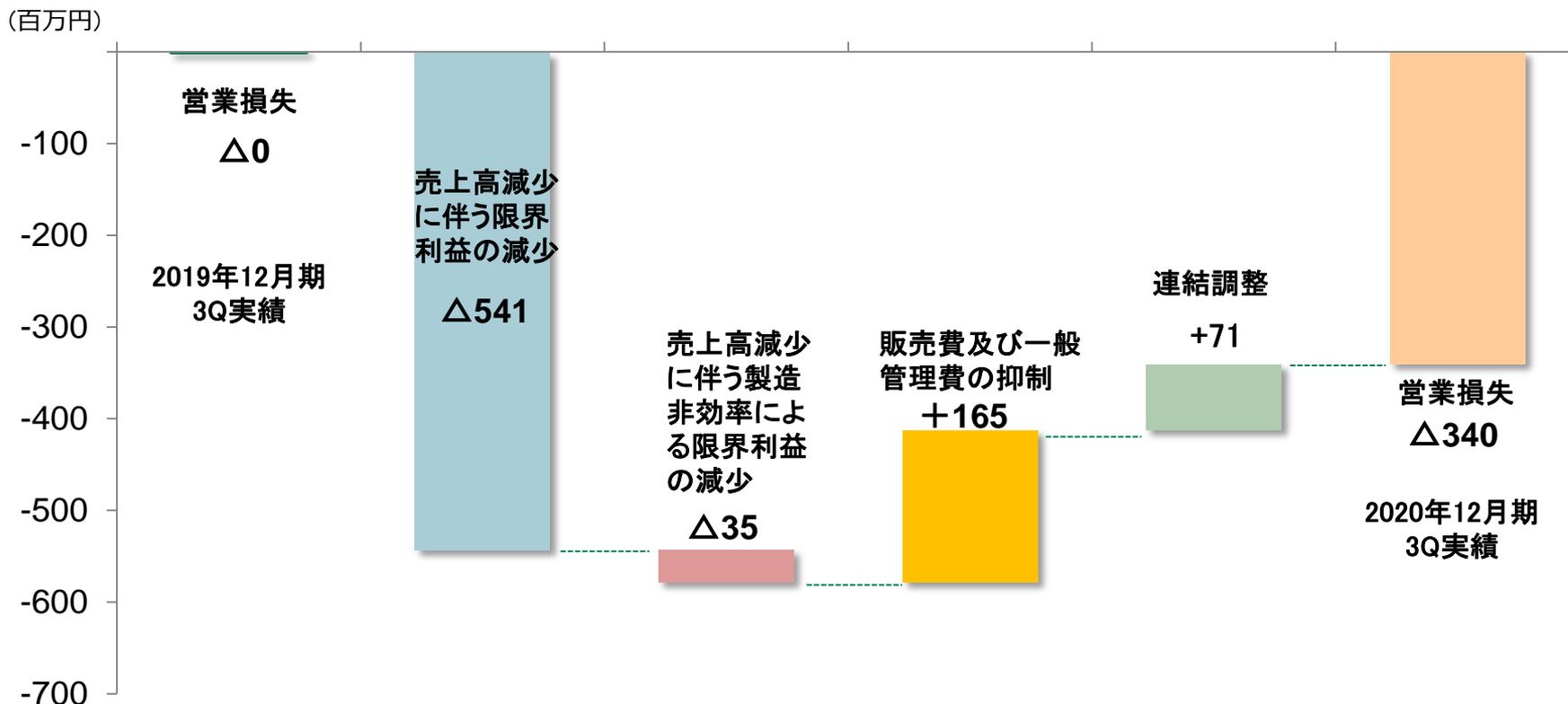
家庭用
274百万円

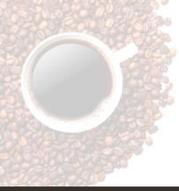


新型コロナウイルス感染拡大を受けた緊急事態宣言解除後も、引き続き業務用事業の主要取引先であるカフェ・レストラン・コンビニエンスストアやオフィス・ホテル等のコーヒー需要が低迷し、大幅に減収

営業利益の増減分析(連結)

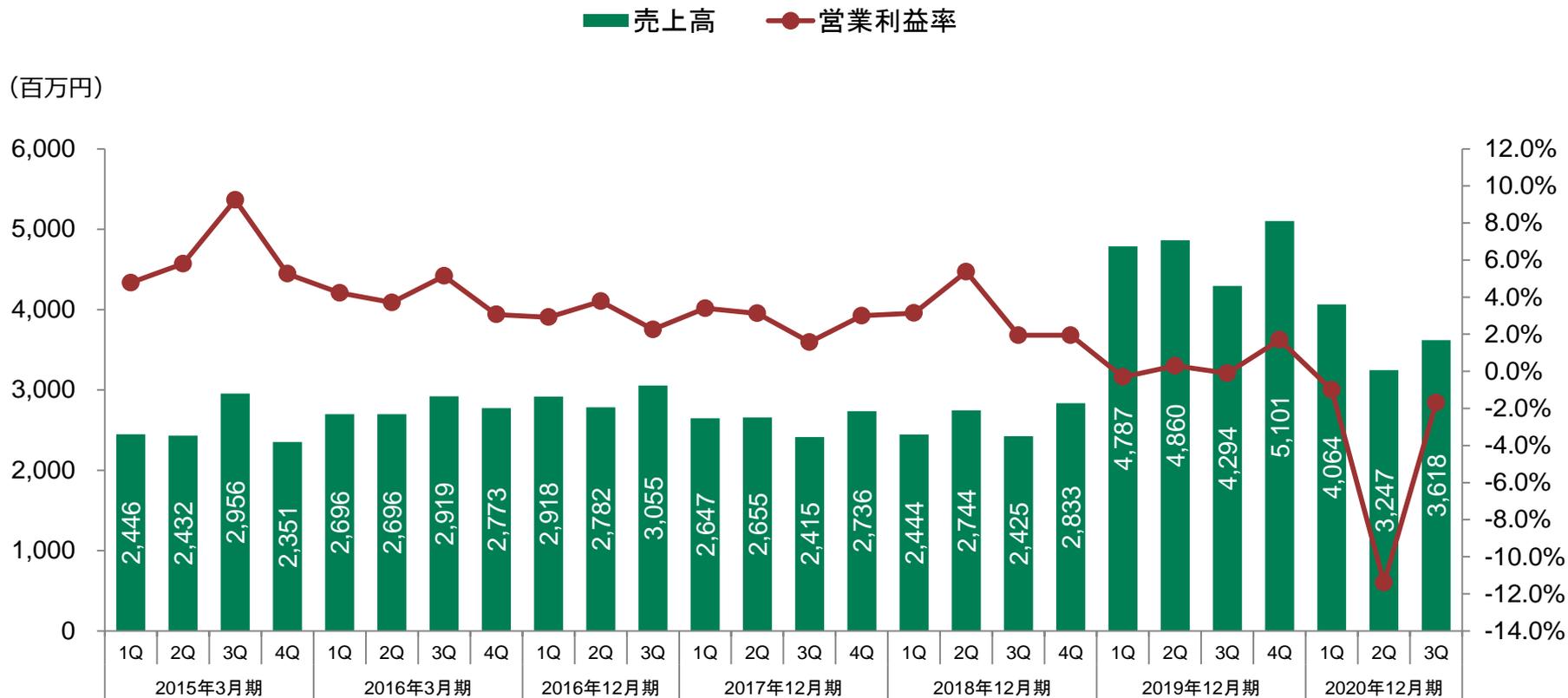
当第3四半期連結累計期間の営業損失3億40百万円





主な指標

四半期業績の推移



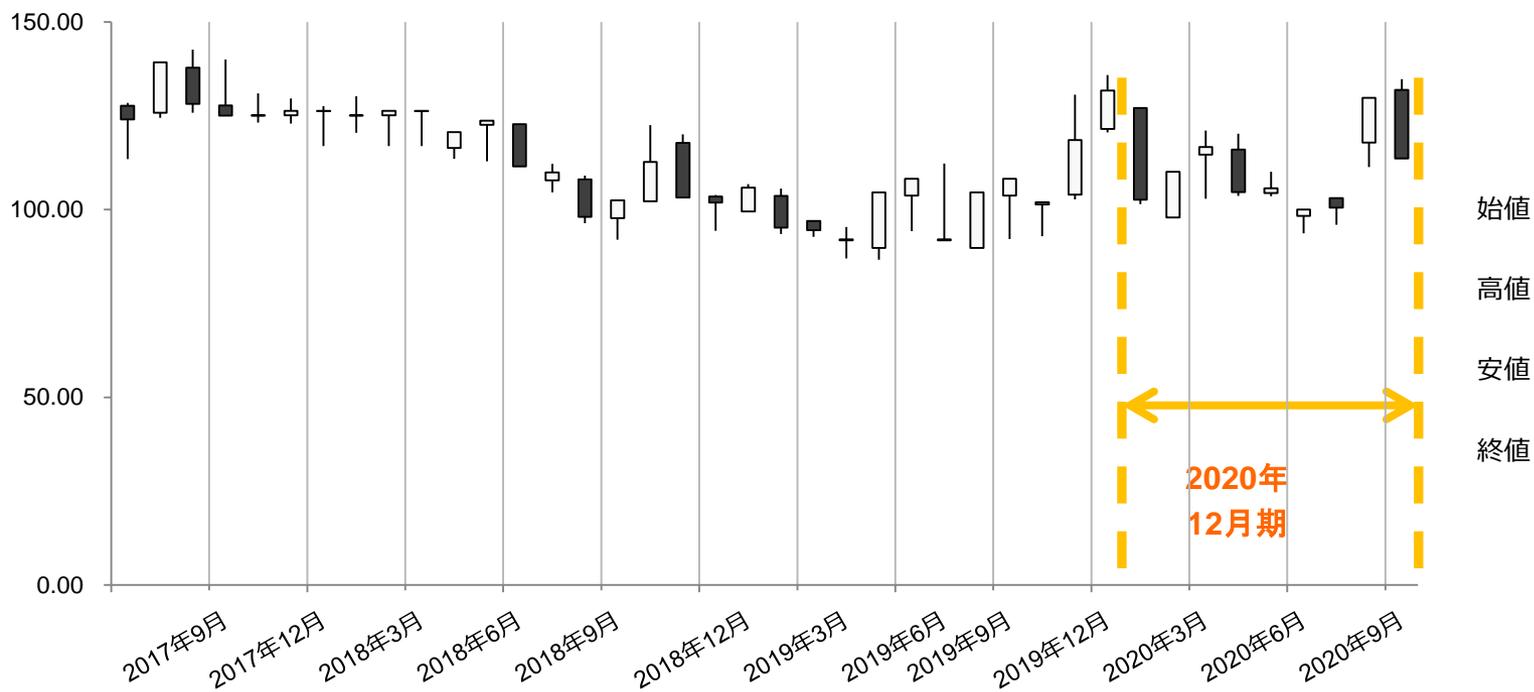
※1. 2016年12月期は決算期変更により、2016年4月1日から12月31日までの9ヶ月決算となっております。

※2. 2019年12月期より連結決算となっております。

低い水準で推移しているが、
為替変動により先行きは不透明な状況

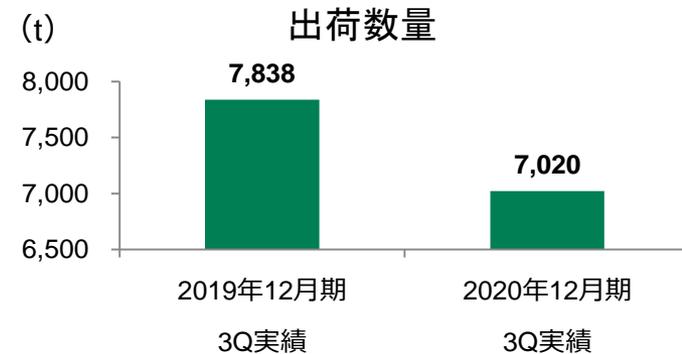
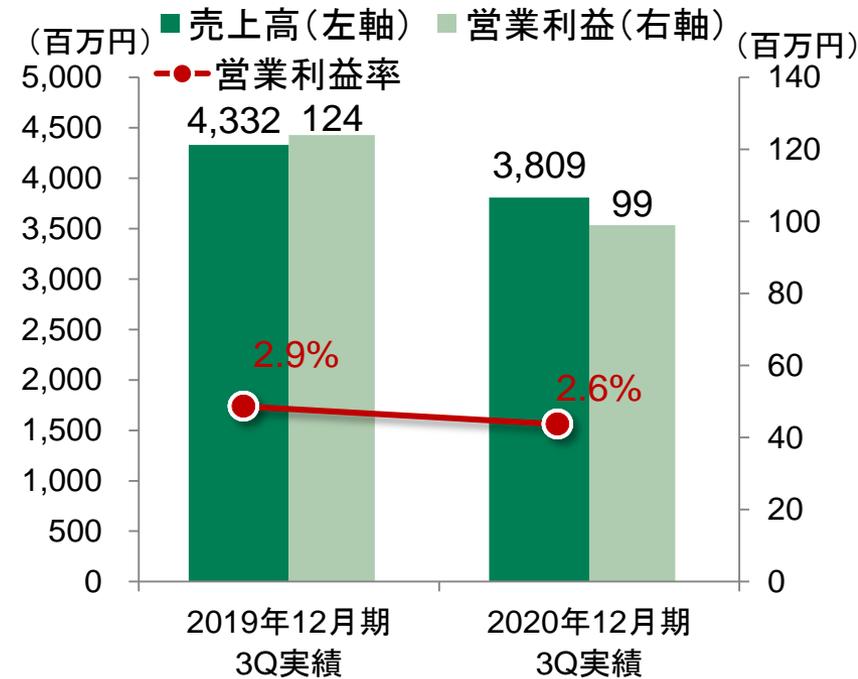
NYコーヒー相場

(¢/ポンド)



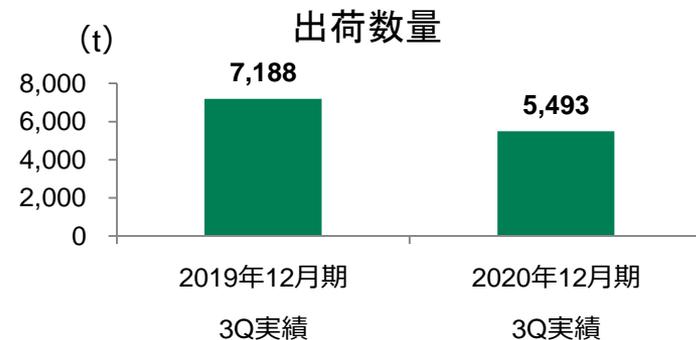
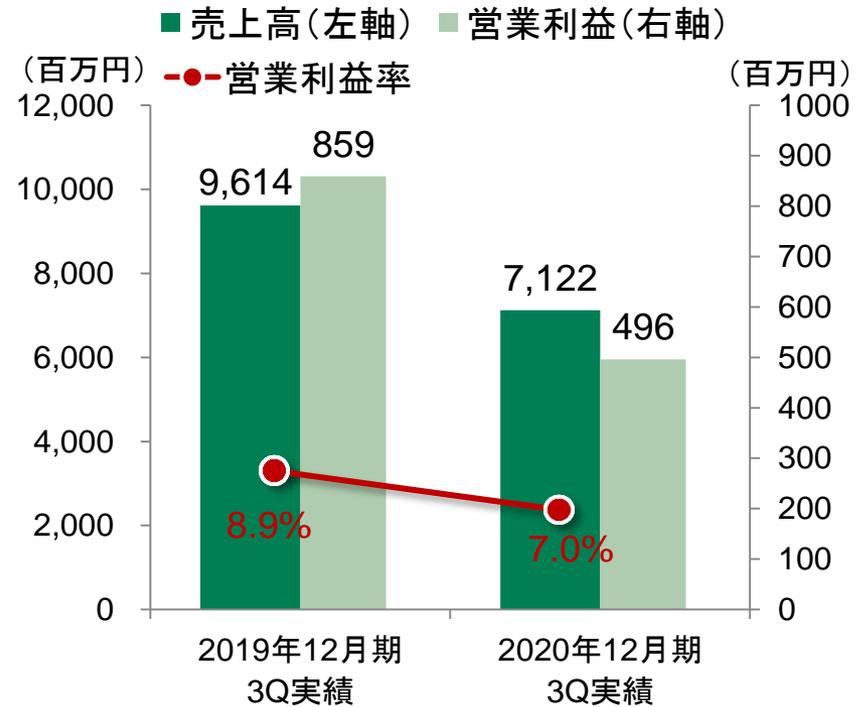
チャンネル別の業績(工業用)

- 新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛に伴い、各主要大手メーカーの売上高・出荷数量ともに減少



チャンネル別の業績(業務用)

- 新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言解除後も、外食需要が低迷したことが大きく影響し、売上高、出荷数量ともに減少
- 巣ごもり消費による内食へのシフトにより個人消費に拡大傾向がみられるものの業務用事業の消費の減少を補完するには至らず



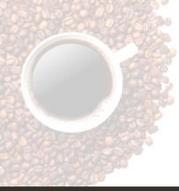
◆ 2020年11月13日開催の取締役会において、設備投資について決議

【目的】

一杯抽出型コーヒー市場の伸長に伴う、当社神奈川総合工場の生産能力の増強が目的

設備投資の概要	
所在地	神奈川県愛甲郡愛川町中津字桜台4026-9 株式会社ユニカフェ神奈川総合工場
内容	一杯抽出型包装ライン導入等
設備投資の額	984百万円（予定）
稼働開始時期	2021年8月（予定）

当該設備投資における2020年12月期の連結業績に与える影響は軽微であります。

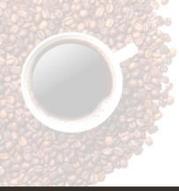


業績予想

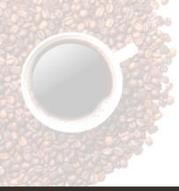
2020年12月期業績予想について

2020年12月期通期連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株式に帰属 する当期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回予想(B)	14,543	△368	△314	△2,153	△161.84
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2019年12月期)	19,403	85	74	△130	△9.92

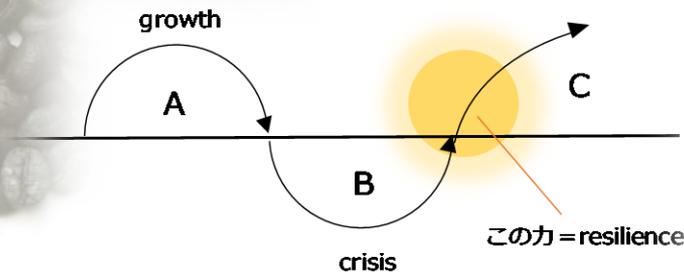


今後の戦略



レジリエントプラン Resilient Plan

レジリエントとは
様々な環境状況に対しても、しなやかに適応し、生き延びる力のこと



レジリエントカンパニーになる

<「With CORONA」の市場環境>

<ユニカフェがこれからできること>

缶コーヒー
チルドコーヒー

巣ごもり需要で堅調
チルド飲料がトレンド化(乳業メーカー)
自動販売機は低迷続きメーカー毎に優勝劣敗が顕著
※昨対6月▲13%、5月▲37%(飲料総研より)
原料RC割合減少、エキス増加

オフィスから自宅飲用シーン変化への対応
飲料会社開発機能の受託
香料会社とのアライアンス強化による国内エキスの提供
当社-ART工場効率化(価格訴求・ART工場有効活用)

カフェチェーン
ファミレス 等

緊急事態宣言に伴う外食店舗の休業、営業時間短縮による外食機会の減少
テイクアウト・デリバリーの利用増加
オフィス、ホテル利用機会減少
オフィスの一局集中型から分散化
解除後もL字回復

店舗に頼らないビジネスモデル再構築(物流)
ECサイト強化
サテライト分散型への対応
家庭用で消費する製品のラインナップ拡充
顧客価値の変化(リアル体験)への対応
サブスクリプションの推進

DB

外出自粛、テレワーク拡大による巣ごもり需要による拡大期
各流通のPB化 大手NBの拡大
海外需要の増加

多種多様(形状、サイズ)の多品種少量生産体制の構築(どこからでも受託できる体制の構築)
設備投資
人材育成
ECサイト強化

カプセル

オフィスの一局集中型から分散化
AH(家庭用向け)に市場がシフト

オフィスから自宅への配送手段の構築(物流)
AFH(業務用向け)からAH(家庭用向け)への市場転換
サブスクリプションの推進
ECサイト強化

レジリエントカンパニーになるためのマイルストーン

2020年
With CORONA

2021年

2022年
Beyond CORONA

緊急事態対応

- ✓コスト削減
- ✓投資見直し
- ✓手元流動性の確保

構造改革の推進

- ✓アートコーヒーPMIの加速
 - ・営業は多様性を推進
 - ・生産、非営業体制の再編
- ✓カップスの関連会社化

レジリエントプランにおける成長ドライバー

- ✓SSMS(※注)への設備投資
- ✓業務用事業におけるプレゼンス向上
- ✓工場再編によるコスト優位性

(※注) SSMS…

Single Serve Manufacturing System
当社の造語 一杯抽出型製造システム

✓ SSMSの完成に向けた設備投資

- ・オペレーション、人材の育成
- ・IOT化、自動化による省人化
- ・最新設備の導入

設備投資総額
2022年までに
約10億円

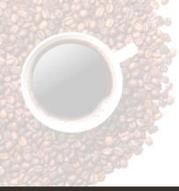
✓ 業務用事業の各社に向けた Beyond CORONA対策の実行

コンパクトシティ化

- ✓DX
- ✓リカーリングモデル
- ✓D2C
- ✓User Experienceの追求



- ・テイクアウト
- ・宅配
- ・サブスク
- ・多種多様なSSの提供



第50期記念株主優待について

第50期記念株主優待を実施

記念株主優待の内容

これまでの株主優待制度から、第50期を記念して自社製品の内容を拡充

通常の株主優待		第50期記念株主優待	
所有株式数	優待内容	所有株式数	優待内容
100株以上 1,000株未満	2,000円相当の 自社製品	100株以上 1,000株未満	3,000円相当の 自社製品
1,000株以上	3,000円相当の 自社製品	1,000株以上	4,000円相当の 自社製品

贈呈時期

2021年2月中旬を予定

本記念株主優待は、今回限りの実施

株主優待品の内容(ご参考)

🌱 100株以上1,000株未満

レギュラーコーヒーセット(3,000円相当の自社製品)



セット内容

- ・コクのブレンド (ブラジル、タンザニア他) 150g(粉)
- ・東ティモールブレンド (東ティモール、コロンビア) 150g(粉)
- ・カフェインレスモカ (エチオピア) 150g(粉)

🌱 1,000株以上

ドリップコーヒー・レギュラーコーヒーセット(4,000円相当の自社製品)



セット内容

- ・コクのブレンド (ブラジル、タンザニア他) 7g×14P
- ・東ティモールブレンド (東ティモール、コロンビア他) 7g×14P
- ・コクのブレンド (ブラジル、タンザニア他) 150g(粉)
- ・東ティモールブレンド (東ティモール、コロンビア他) 150g(粉)
- ・カフェインレスモカ (エチオピア) 150g(粉)
- ・有機コロンビアブレンド (コロンビア、ペルー他) 150g(粉)



免責事項

本資料に記載の内容は、過去及び現在の事実に関するものを除き、当社が現時点で入手可能な情報及び仮説に基づいて判断されたものであり、当該仮説や判断に含まれる不確定要素や、将来の経済環境の変化等により影響を受ける可能性があり、結果として当社の将来の業績と異なる可能性があります。

なお、本資料における将来情報に関する記述は上記のとおり本資料の日付(またはそこに別途明記された日付)時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

また、本資料に記載されている当社以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。

本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

インサイダー取引に関するご注意

企業から直接、未公開の重要事実の伝達を受けた投資家(第一次情報受領者)は、当該情報が「公表」される前に株式売買等を行うことが禁じられています(金融商品取引法166条)。

同法施行令第30条等の定めにより、二つ以上の報道機関に対して企業が当該情報を公開してから12時間が経過した時点、または金融証券取引所に通知しかつ内閣府令で定める電磁的方法(TDnetの適時開示情報閲覧サービスおよびEDINET公開WEBサイト)により掲載された時点を以って「公表」されたものとみなされます。